

事業所における自己評価総括表 2026年度

○ 分析結果

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動療育の目的や支援内容をより分かりやすく伝える工夫が必要である。	送迎時は時間が限られており、活動のねらいや支援の意図、成長の過程を十分に説明する機会が少ない。	写真やおたより、個別面談などを活用し、活動内容や支援の目的、成長の様子をより分かりやすく発信していく。
2	職員の専門性をさらに高める取組が必要である。	発達支援や運動療育に関する知識・技術は継続的な学びと実践の積み重ねが求められる。	年間研修計画に基づき、事業所内研修や外部研修への参加を継続し、支援力の向上につなげる。
3	地域や関係機関との連携体制をさらに充実させる必要がある。	保育所・幼稚園・関係機関との情報共有や連携の機会に差が生じる場合がある。	保護者の同意を得ながら関係機関との情報共有や連携を積極的に進め、一貫性のある支援につなげていく。